

FILE  
**30** 採卵成績と黄体

採卵においてどれだけの回収卵が見込めるかは、黄体数を基準としています。

普段は触診のみですが、採卵牛にエコーをあて黄体を数えてみました。

採卵の時に触診にて黄体数を数え、採卵記録用紙に記入します。

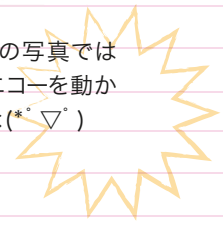
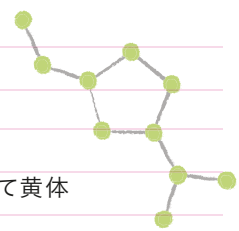
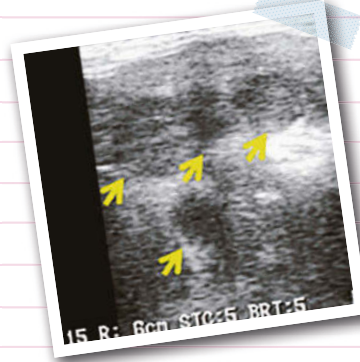
この後、検卵により受精卵を探し出し、何卵回収されたかが分かります。

黄体数と見比べるときちんと採卵できているのかが分かります。

(実際には子宮まで降りてきていない受精卵もあると思いますし、触診では数えられていない黄体もあると思います)

自分の採卵した牛の回収卵数を見るのは毎回ヒヤヒヤ(・・;)しますが、回収卵数と黄体数がピッタリだと嬉しい(\*∇\*)ものです。

矢印で示した少し白いものが黄体です。この写真では4個見えていますが、卵巣が立体的なためエコーを動かしながら数えていきます。うーん、5個かな(\*∇\*)



FILE  
**31** 和牛の双子生産  
①素牛不足の解消を

今はET研究所に所属している私ですが、以前は同じ全農内の餌の研究所に所属しており、牛の飼養管理や飼料の開発に関する研究をしていました。その中でも、双子生産の研究を継続して行っていました。

双子は難産や流死産の発生が問題になるだけでなく、親牛への影響も出ることがあり、簡単な技術ではありません。そこで、試験の内容の一部をご紹介します。

実際にやっているけどなかなかうまくいかない、または、興味はあるけど手が出せない、といった方々にとっての解決策が、記事の中に含まれていれば幸いです。

まず、和牛の双子生産に取り組んだきっかけですが、和牛素牛の頭数が減少し、価格が高騰の一途をたどる中で、繁殖農家で双子生産が可能になれば和牛素牛の頭数が増え、価格も安定させられるだろうか、と考えたのが始まりでした。

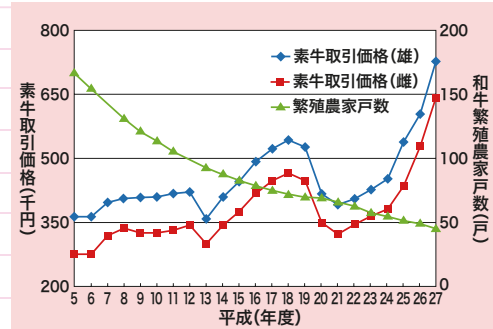
- 通常のAIでも双子生産率が高いホルスタイン(ホルスタイン5~10%、和牛1%未満)では双子分娩の際、
- 妊娠期間の短縮により妊娠末期の栄養管理が適切に行われぬ
  - 周産期疾病増加
  - 乳量低下
  - 子牛の生時体重の低下
  - 難産

などの問題が発生することが多いです。和牛においては例数も少なく不明確な点が多いですが、ホルスタインのように乳腺の発達や泌乳にエネルギーが使われることもないので、成績が安定するのではないかと予想しました。

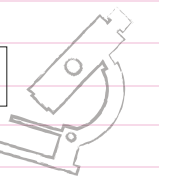
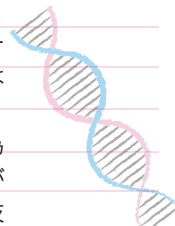
そこで、和牛を供試し、ET時に受精卵を2卵移植。人為的に双子受胎牛を作り出し、分娩前の栄養給与水準が分娩成績に及ぼす影響を中心に調査し、双子生産技術の確立を目指しました。

次回は2つの受精卵を移植する際の移植方法と受胎成績の結果をご紹介します。

※なお、この双子生産の内容は2014年の「全農畜産技術シンポジウム」で発表、本誌90号で掲載しております。



※素牛取引価格は農畜産業振興機構「肉用子牛取引情報」を、和牛繁殖農家戸数は農林水産省「畜産統計」から、それぞれ抜粋



ET研の「いま」が分かる「全農ET研ブログ」はコチラ▶▶ <http://etken-blog.lekumo.biz/et/>  
※編集の都合上、ブログと表記や写真等が異なる場合がございます



ET技術を活用して、優良和牛素牛、優良和牛繁殖牛の増産や、乳牛の後継牛確保・改良の研究を行う「JA全農ET研究所(ET研)」。そのET研が発信しているブログから、皆さまに役立つ情報を紹介していきます!



FILE  
**28** さんかいルール

業界には独特な決まりが存在しますよね!? 受精卵業界では……

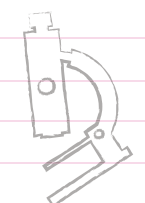
卵子・受精卵の洗いは3回! という暗黙のルールのようなものがあります。

体外受精を行う場合、卵子を体外受精前に育てる培地から体外受精を行う培地に移動させるなどの「違う培地に移動させる」という手順があります。

その際に、新しく移動させる先の培地で必ず3回洗うようにしているのです。

この洗う作業は手早く終わらせて、培養皿(dish)はすばやくインキュベーターに戻します(^-^\*)

ET研究所では洗い用のdishはこんな感じです。大量の培養液できれいに洗っています。



FILE  
**29** 受精卵生産の未来を担う若者たち!?

今週ET研究所には、とってもフレッシュなお客様が来られました(\*∇\*)



帯広畜産大学の学生ご一行様です(//艸//)

2年生の授業の一環として毎年訪問してくれるのですが、普段ET研にこれほど大人数の来客

はないので、椅子を並べたり、たくさんスリッパを引っ張り出してきたりとこちらも大忙し(≧ω≦)

ET研の事業概要や研究内容についての説明の後、実験室や採卵棟を見学していただきました。私も少しだけ立ち会わせていただいたのですが、レベルの高い質問が次々と飛び出し、学生の皆さまの優秀さや熱心さに感動しましたd('v'●)

実は私も同大学の出身ですので、かわいい後輩たちがET研の仕事に興味を持ってくれるのはたいへん嬉しいことです(\*^◇^\*) サプライズ(!?)で一緒に来られた恩師の姿を見た時には、心拍数が上がりましたが(笑)。

この中の誰かが卒業後ET研に就職し、受精卵生産に力を注いでくれたら……なんて妄想をしつつ、未来への可能性に満ちた背中を見送りましたとき♪

